

平成27年度 全国学力・学習状況調査

本調査は、文部科学省が、学校の設置管理者等（教育委員会、学校法人等）の協力を得て実施するものです。

調査実施日：4月21日（火）

調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

調査対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

①教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）

主として「知識」に関する問題(A)	主として「活用」に関する問題(B)
<ul style="list-style-type: none">・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など	<ul style="list-style-type: none">・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 など

※理科については、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問う。

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語の勉強は好きですか、授業の内容はどの程度分かりますか、一日にテレビを見る時間、携帯電話等の使用時間、読書時間、勉強時間の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 学力向上に向けた取組、指導方法の工夫、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況 など

時間割

◎小学校（児童質問紙は、4時限目終了後以降に、各学校の状況に応じて実施。）

1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	
国語A（20分）、算数A（20分）	国語B（40分）	算数B（40分）	理科（40分）	児童質問紙（20分程度）

◎中学校（生徒質問紙は、5時限目終了後以降に、各学校の状況に応じて実施。）

1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	5時限目	
国語A（45分）	国語B（45分）	数学A（45分）	数学B（45分）	理科（45分）	生徒質問紙（20分程度）

問題例：過去の全国学力・学習状況調査より

全問題については、 (<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>) を参照。

小学校・国語A (平成26年度) 新聞の投書を読む

- 1 複数の情報を比べ、内容のちがいに注目して書いている。
- 2 昔から伝わることわざや、言い伝えを引用して書いている。
- 3 自分の考えに反対する具体的な意見を取り上げて書いている。
- 4 自分が実際に体験したことをもとにして書いている。

命の大切さは同じ

小学生 西田夏子 (〇〇市 12才)

先日、近くの公園へ遊びに行ったとき、ねこの鳴き声が聞こえてきました。鳴き声がする方へ近づくと、小さな箱があり、その中にねこがいました。そのねこは、ふるえていました。それを見て、わたしはかわいそうに思いました。ねこは、すてられたのでしょうか。もしすてられたのであれば、

飼い主の人は、どうしてすてたのでしょうか。ねこは小さな生き物ですが、命の大切さはわたしたち人間と同じだと思います。これは、ねこに限ったことではありません。動物を飼う人には、その動物の命の大切さをきちんと理解して飼ってほしいと思います。

4

新聞には、読者からの投書(自分の意見や希望などを書いて送ること。また、その文章)がのせられているものがあります。次の「投書」の書き手は、自分の意見や希望などをどのように書いていますか。その説明として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

●出題の趣旨
新聞の投書を読み、表現の仕方を捉えることができるかどうかをみる。

●正答
4
(正答率 71.9%)

中学校・数学B (平成26年度) 事象の図形的な考察と問題解決の方法 (文化祭の準備)

1 第一中学校では文化祭の準備をしています。実行委員の健太さんは、来客用のはり紙やパンフレットを作ったり、校舎に横断幕を取りつけたりします。

図1は校舎の1階と2階の案内図です。

図2は文化祭のパンフレットに、外から校舎を見た図2を使い、図1で示した非常口の位置が、図2のA、B、C、Dの中にあります。下のアからエまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

ア Aの位置 イ Bの位置
ウ Cの位置 エ Dの位置

2 図3のように、校舎に「一中文化祭」の横断幕を取りつけます。健太さんは、校門の位置に立って見たときに、図4のように横断幕が木にまったく隠れない高さで、最も低い位置に取りつけたいと思いました。そこで、図5のように、校門の位置に立っている健太さんと木と校舎を真横から見た図をかいて、木に隠れない横断幕の位置を考えることにしました。

横断幕が木にまったく隠れない最も低い位置を求める方法を言葉で説明しなさい。解答用紙の図を使って説明してもかまいません。

次の(1)から(3)までの各問に答えなさい。

(1) 図1の掲示板に、美術室への経路を示すはり紙を掲示します。そのはり紙が、下のアからエまでの中にあります。正しいものを1つ選びなさい。

ア

イ

ウ

エ

●出題の趣旨
与えられた情報を読み、次のことができるかどうかをみる。

- ・事象を図形に着目して観察すること
- ・必要な情報を適切に選択すること
- ・事象を理想化・単純化して、その特徴を的確に捉えること
- ・数学的な結果を事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること

●正答

(1) ウ

(2) ア

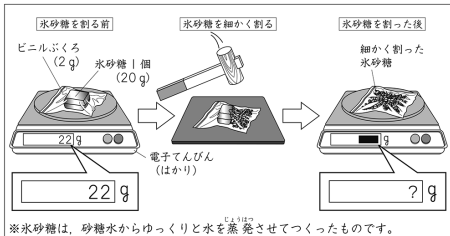
(3) (正答例)

健太さんの目と木の先端の2点で決まる直線をひき、その直線と校舎を表す線分との交点を求め、その位置に横断幕の下端が一致するように取りつけばよい。

(正答率 (1) 77.4%, (2) 93.0%, (3) 61.3%)

1 よしさんは、氷砂糖こおりあじを使って、その重さやとけ方について調べました。

(1) 下の図のように、氷砂糖1個とビニルぶくろびにるぶくろの重さをはかると、22gでした。次に、水にとかしやすくするため、氷砂糖をビニルぶくろに入れて細かく割りました。そして、もう一度全体の重さをはかりました。



※氷砂糖は、砂糖水からゆっくりと水を蒸発させてつくったものです。



氷砂糖を細かく割った後の全体の重さは、(ア)。

よしさん

よしさんの言葉の(ア)の中に当てはまるものを、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 22gより軽くなっていました
- 2 22gと変わっていませんでした
- 3 22gより重くなっていました
- 4 ビニルぶくろの重さだけになっていました

●出題の趣旨

物は、形が変わっても重さは変わらないことを理解しているかどうかをみる。

●正答

2

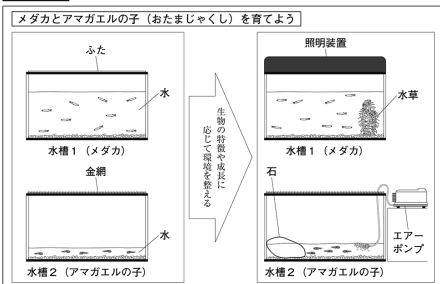
(正答率 85.9%)

1 果歩さんはメダカとアマガエルについて、真菜さんはチューリップについて、それぞれ自由研究に取り組み、発表用ポスターを作成しました。次の(1)から(6)の各問に答えなさい。



ポスターを使った発表

ポスター1 次は、果歩さんのポスターの一部です。



家の近くで、メダカとアマガエルの子を見つけた。まず、図1のように2つの水槽にそれぞれ水を入れ、室内で継続して飼育することにした。次に環境を整えるため、図2のように、水槽1には水草を入れ、照明装置で光を当てた。また、アマガエルの子にあしがはえてきたので、親(成体)になる目と近いと考え、水槽2には石を入れ、陸地になる部分をつかった。

(1) 下線部うしんぶのようにして、水中に増やそうとした物質の名称を書きなさい。また、このときの水草の行っているはたらきを何といいますか。その名称を書きなさい。

(2) 下線部うしんぶのように、陸地になる部分をつかった理由を書きなさい。ただし、アマガエルの子と親のそれぞれについて、呼吸のしかたと生活場所に関連させて書きなさい。

●出題の趣旨

- (1) 魚類の呼吸と水草の光合成を理解しているかどうかをみる。
- (2) 動物を飼育する場面において、両生類の子と親の体のつくりと動きや生活場所に関する知識を活用して、カエルの特徴や成長に応じて飼育の環境を整えた理由を説明することができるかどうかをみる。

●正答

物質の名称：酸素

(1) 水草のはたらきの名称：光合成

(2) (正答例)

アマガエルの子はえら呼吸をして水中で生活するが、アマガエルの親は肺呼吸をして(主に)陸上で生活するから。

(正答率 (1) 56.8%, (2) 38.5%)

❖ 調査結果等の集計・分析・提供

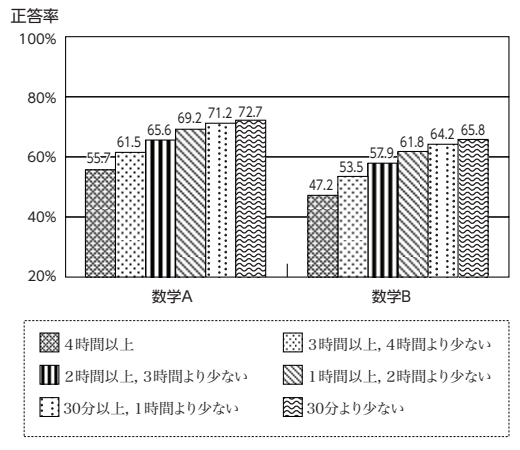
集計・分析

- ◇国全体、各都道府県、地域の規模等における調査結果を公表
- ◇児童生徒の学習環境や生活習慣、学校における指導や教育条件の整備状況等と学力の相関関係を分析、公表

▼公表する調査結果の例

◇普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)

(平成26年度調査：中学校)

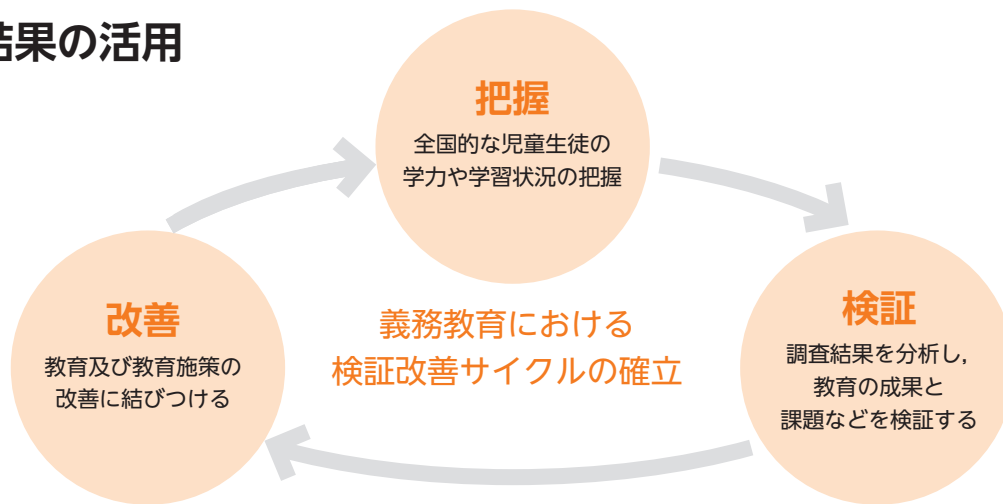


提供

- ◇各教育委員会、学校に以下の調査結果を提供
 - ・児童生徒の正答数分布図
 - ・設問別正答率・無解答率、類型別解答状況
 - ・質問紙調査の結果
 - ・各児童生徒に提供する「個人票」など

▼「個人票」のイメージ

調査結果の活用



国	教育の改善に向けた全国的な取組を推進	(例) 学習指導要領の改訂, 各種施策の検証・改善, 教員の配置等への支援, 教育委員会や学校における改善の取組への支援 など
教育委員会	域内の教育の改善に向けた取組を推進	(例) 教員の配置等の工夫, 教員研修の充実, 教育指導等の改善のための資料の作成, 保護者や地域と連携した取組 など
学校	教育指導等の改善に向けた取組を推進	(例) 明らかになった課題を踏まえた授業改善の取組, 校内研修の充実, 家庭における学習習慣や生活習慣の確立に関する保護者への働きかけ, 地域のボランティア等の協力による放課後等における補充学習の実施 など

◎全国学力・学習状況調査を活用するための参考資料等

■授業アイデア例

各学校において、今後の教育指導や児童生徒の学習状況の改善等に活用できるようにするため、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて、授業の改善・充実を図る際の参考となるよう授業のアイデアの一例を示すもの。

■全国学力・学習状況調査の4年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめ

平成 19～22 年度の全国学力・学習状況調査の結果を分析し、とりまとめた資料。

(概要)

- ・各教科の領域等ごとに、児童生徒の「成果」と「課題」を整理
- ・特に「課題」については、児童生徒一人一人の学習内容の着実な定着を目指して、その解決に向けた詳細な分析を行い、学習指導の改善・充実の参考となるポイント等を記載

■全国学力・学習状況調査において特徴ある結果を示した学校における取組事例集

全国学力・学習状況調査において、無解答率が低いなどの特徴ある結果を示した学校が、その結果に寄与したと考えている取組をとりまとめた事例集。

■全国学力・学習状況調査の結果を活用した実践研究の成果報告書

調査結果から明らかになった課題に対して、教育委員会、学校等が連携しながら学校の教育活動等の改善に取り組んだ実践研究の概略等を掲載した報告書。

■全国学力・学習状況調査の結果を用いた追加分析

国や教育委員会、学校等の教育活動や、教育施策の一層の改善を図るため、大学等の研究機関の専門的な知見を活用し、高度な分析・検証を行った調査研究の報告書。

(分析例)

- ・家庭状況と学力の関係や不利な環境にあるにも関わらず、比較的良好な結果を示した学校の特徴等
- ・習熟度別少数指導の効果について分析
- ・学力層に着目した指導方法等に関する分析

これらの資料は、国立教育政策研究所 HP
<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>
 に掲載されています。